

はりうす



小樽市立張碓小学校

＜教育目標＞

自ら考え ともに高め
合い 未来に向かって
努力する子ども

第6号

令和8年9月2日

目的や目標の持ち方で取組が変わる

小樽市立張碓小学校長 増 田 昭 雄

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。子どもたちは、それぞれ充実した楽しい夏休みを過ごせたようです。大きな事故やケガ、病気の連絡もなく、みんな元気に2学期がスタートできたことを大変嬉しく思います。家庭や地域で子どもたちが健康・安全に過ごせるよう見守っていただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、外国に伝わる「3人のレンガ職人」という話があります。

旅人がある一本道を歩いていると、1人の男が辛そうな顔でレンガを積んでいました。旅人はその男に「ここでいったい何をしているのですか？」と尋ねると「何って、見ればわかるだろう。朝から晩まで、俺はここでレンガを積まなきゃいけないのさ。」と答えました。

もう少し歩くと、レンガを積んでいる別の男に出会いました。旅人はまた「ここでいったい何をしているのですか？」と尋ねました。2番目の男は「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事でね。この仕事のおかげで俺は家族を養っているんだ。」と答えました。

しばらく歩くと、また別の男がレンガを楽しそうに積んでいるのに出くわしました。旅人はまた「ここでいったい何をしているのですか？」と尋ねました。3番目の男は「俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ！俺たちが作った大聖堂で、多くの人が祝福を受け、悲しみがはらわれるんだ。素晴らしいだろう！」と答えました。

旅人は、男に感謝の言葉を残して、また歩き出しました。

3人とも同じレンガを積む仕事をしていますが、それに対する受けとめ方が異なっています。1番目の職人は、レンガ積みをやらされているだけで目的も目標もありませんが、3番目の職人は、将来の大きな目標に向けてやりがいや達成感を持ってレンガを積んでいます。

2学期が始まり、子どもたちは学習や生活の新しい目標を立てています。「何のためにするのか」目的が変わればその取組への意識も変わり、結果も大きく違ってきます。子どもたちには、3番目の職人のように、自分の夢や目標に向かって、自ら考え行動できる人に成長してほしいと願っています。

学校では、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、2学期も、様々な経験を積み重ねることで子どもたちの興味・関心を高め、将来の夢や目標に向かって、自ら考え、協働的に学び続ける子どもたちを育ててまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2学期が始まりました！

8月21日（金）より2学期が始まりました。長い夏休みを終えて、49名全員が元気に登校してくてくれたことを大変うれしく思います。始業式では、校長先生のお話を集中してしっかり聞き、49名とは思えないくらい元気でのびやかな歌声で校歌を斉唱しました。児童会代表からは「2学期もみんな仲良く元気にがんばっていきましょう。」と2学期の学校生活に向けてお話がありました。みんなやる気に満ちた
素敵な表情を
していました。



水泳学習、がんばりました！

8月25日（火）に桂岡小学校のプールで2回目の水泳学習を行いました。あいにくの雨天ではありましたが、スクールバスに乗って往復することができました。

今回もそれぞれのグループに分かれて、水遊び、ふし浮き、だるま浮き、けのび、バタ足等の基礎練習をはじめ、クロールや背泳ぎ等の練習に取り組みました。最後は、大きなボードに乗って楽しんだり、水に沈むアイテムを使って宝探しをしたりしながら、みんなで遊ぶ時間をとりました。

2回にわたる水泳学習で子どもたちは、水に慣れる・浮く・泳ぐなどそれぞれの目標を達成し、「上手になった！できるようになった！」と感じられる充実した水泳学習となりました。保護者の皆様には、水着や着替えの準備等ご協力いただき、ありがとうございました。



「芸術鑑賞」～ 劇団風の子北海道～

8月27日（水）に芸術鑑賞が行われました。今年度は、劇団風の子北海道の方々が来てくださり『かぜのこひろば』の演目を披露してくださいました。手遊び・素劇・タンграм・おりがみの詩・おはなしコンサート…と楽しい内容がたくさん組み合わさっていて、子どもたちは、笑顔で、時には演者さんの問いかけに対話をしながら、楽しい時間を過ごすことができました。教室に戻ってからタングラムに挑戦してみた子どももたくさんいました。プロの演劇をまじかで見るとは、子どもたちにとって貴重な経験になったことと思います。



校内研究授業

8月26日（火）の2校時に2年1組大山学級で校内研究授業が行われました。国語の『ことばでみちあない』の学習で分かりやすく伝えるために、子どもたちは、事柄の順序をよく考えながら、クロームブックに道案内を録音し、工夫をしていました。また、友だちの発表を聞き逃さないようによく聞いて、大変集中して学習をしていました。子どもたちの意欲と学級の中で自分の考えを安心して発表できる風土が育っていることが伝わる授業でした。



ブックパック贈呈式

北海道教育公務員弘済会のブックパック事業により、絵本セット（40冊）が贈呈されました。全校児童を代表して6年生の文化専門委員が目録を受け取り、お礼の言葉を述べました。読書の秋に向け、新しい本が増え、子どもたちもどんな本が来るのか楽しみにしていました。



夏休み作品展



1階のろう下には、夏休み中に子どもたちが取り組んだ様々な作品が展示されました。今年度から宿題ではなくなりましたが、たくさんの作品が並びました。工作、キーホルダー、手芸作品をはじめ、実験の記録、調べ学習等いろいろな作品がありました。作品を作るにあたり、保護者の皆様のご協力のもと、一緒に取り組んでくださったり、アドバイスをしてくださったことと思います。ありがとうございました。



体力向上の取組 なわとび検定

毎週水曜日の中休みに、縦割り班2班ずつが体育館に集まり、なわとび検定を行っています。時間を計って回数の記録に挑戦したり、いろいろな技に挑戦したりしています。「新記録達成できた！」「今日は二重とび30回に挑戦！」などと子どもたちは、やる気満々で取り組んでいます。



前期保護者アンケートへご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果は後日別紙にてお配りいたします。

お忙しい中、たくさんのご家庭よりご回答をいただきました。ありがとうございました。

